

9月定例会における地方自治法第121条
第1項の規定に基づく説明者一覧

知事	大野元裕
副知事	堀光敦史
副知事	山崎達也
副知事	伊藤高
企画財政部長	中山貴洋
総務部長	三須康男
県民生活部長	島田繁
危機管理防災部長	犬飼典久
環境部長	石井貴司
福祉部長	細野正
保健医療部長	表久仁和
産業労働部長	目良聡
農林部長	横塚正一
県土整備部長	吉澤隆
都市整備部長	伊田恒弘
会計管理者	岩崎寿美子
公営企業管理者	板東博之
下水道事業管理者	北田健夫
教育長	日吉亨
選挙管理委員会委員長	長峰宏芳
人事委員会委員長	池本誠司
同事務局長	唐橋竜一
公安委員会委員長	加村啓二
警察本部長	鈴木基之
同総務部長	上條浩一
労働委員会会長	青木孝明
同事務局長	山本好志
監査委員	間嶋順一
監査委員	小笠原薫子
同事務局長	西村朗
収用委員会会長	久保村康史
内水面漁場管理委員会会長	岡本信明

質 疑 質 問

9月定例会では、知事から提出された議案を審査するに当たり、自由民主党9人、民主フォーラム2人、公明党2人、無所属県民会議1人、無所属改革の会1人の議員が登壇し、それぞれの立場から提出議案に対する質疑並びに県政に対する質問を行った。

一般質問

10月1日

自	民	木下博信	議員
民主フォーラム		水村篤弘	議員
公	明	権守幸男	議員

10月2日

自	民	尾花瑛仁	議員
県	民	石川忠義	議員
改	革	中川浩	議員

10月3日

自	民	鈴木まさひろ	議員
民主フォーラム		小森克己	議員
自	民	栄寛美	議員

10月4日

自	民	渋谷真実子	議員
公	明	小早川一博	議員
自	民	小川直志	議員

10月7日

自	民	高橋稔裕	議員
自	民	逢澤圭一郎	議員
自	民	新井一徳	議員

自由民主党

木下博信議員



- 1 県庁舎建替えについて
- 2 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの進め方について
- 3 国への要望の在り方について
- 4 ナショナルミニマムな施策にどう対応すべきか
- 5 県指定出資法人と県の関わりについて
 - (1) 県退職職員の県出資法人への再就職の基準、方針について
 - (2) その考え方（基準、方針）の根拠について
 - (3) 今後について
- 6 公立小中学校の教員配置について
 - (1) 市町村の教育現場の現状把握について
 - (2) その改善への予算確保について
- 7 キャッシュレス化の推進とその課題等について
 - (1) 導入後の課題認識について
 - (2) 運転免許更新における対応について
 - (3) 交通系ICカードの上限の課題について
 - (4) キャッシュレス化と書類窓口受取とのアンバランスについて
- 8 県の許認可事務の適切な取扱いについて
- 9 県による市町村への働き掛けについて
- 10 受動喫煙ゼロの実現に向けて
- 11 ひきこもり状態にある方への施策について
- 12 一時保護後の児童養護施設等の充実について

民主フォーラム

水村篤弘議員



- 1 カスタマーハラスメント対策の推進について
- 2 困難を抱える妊産婦等への支援について
 - (1) 部局横断的なプロジェクトチームの設置について
 - (2) 24時間の相談体制について
 - (3) 県営住宅を活用したステップハウスの整備について
 - (4) ふるさと納税の活用について
- 3 男性を含めた更年期障害の理解促進について

- 4 介護助手導入の推進について
- 5 子どもの近視、視力低下への対策について
 - (1) 小学校低学年を中心とした重点的な予防について
 - (2) 保護者への啓発について
- 6 県立高等学校における教室の暑さ対策について
- 7 災害対策について～食料や医薬品の備蓄など災害への備えについて～
- 8 所沢市の中核市移行について
- 9 身体障がい者補助犬について

公明党

権守幸男議員



- 1 能登半島地震を踏まえた本県の地震防災対策について
- 2 災害対策について
 - (1) 感震ブレーカーの普及啓発
 - (2) 二次避難先の確保
 - (3) 応急仮設住宅としてトレーラーハウスの活用
 - (4) 学校支援チームの創設
- 3 教員の働きやすさの向上について
 - (1) 県独自のアンケート調査結果と教員の勤務改善
 - (2) 学校における働き方改革基本方針の目標達成に向けた取組
- 4 県営住宅について
 - (1) 県営住宅の共益費徴収
 - (2) 交流の場づくりとコミュニティの活性化
- 5 失語症者の意思疎通支援について
 - (1) 普及啓発
 - (2) 意思疎通支援者の派遣事業と養成
 - (3) 交流の場づくりと人材の確保
 - (4) 県は支援センターの役割を果たすべき
- 6 「サーキュラーエコノミー社会」の実現へ
 - (1) 事業者への支援
 - (2) 分別回収の先進的な取組の推進と県民への普及啓発
- 7 地元問題について
 - (1) 県道西金野井春日部線の整備
 - (2) 都市計画道路上野長宮線の整備
 - (3) 一級河川・新方川の整備
 - (4) 一級河川・古隅田川の整備
 - (5) 県営春日部夢の森公園

自由民主党

尾花 瑛 仁 議員



- 1 都県格差と東京圏での埼玉県の在り方
 - (1) 税源偏在・公定価格是正要望について
 - (2) 東京圏での本県の役割を計画に明記すべき
 - (3) 消費活動を反映した税制改正要望を
 - (4) 自主財源の確保体制
- 2 少子化対策地域評価ツールを活用し市町村の後押しを
- 3 希望する人の結婚・妊娠・出産・子育てサポート
 - (1) プレコンセプションケアと検査・カウンセリングを繋ぐ場づくりを
 - (2) 婚活支援策～バーチャルとリアルとの連動企画を～
 - (3) 両立支援策～不妊治療と育休取得への理解協力促進を～
- 4 教育現場内外のこども支援
 - (1) リアルのユースセンター設置支援
 - (2) 校内居場所カフェへの予算措置を
 - (3) 教育現場における実態調査アンケート
ア いじめ防止対策推進法第20条にもとづく調査研究の現状は
イ いじめや自殺防止を強化するための調査チームを設置すべき
- 5 スポーツ科学拠点施設整備
 - (1) 入札不調の経緯を踏まえた対応方針
 - (2) 公募条件の精査で事業者を広く参入させるべき
 - (3) スポーツシュール機能を持たせるための連携体制
- 6 地元問題
 - (1) 江川流域の治水対策
 - (2) 上尾陸橋交差点の整備
 - (3) 県道上尾蓮田線の歩道整備
 - (4) 原市沼調節池を核としたにぎわいづくり

無所属県民会議

石川 忠 義 議員



- 1 eスポーツを介護予防に活用すべき
 - (1) eスポーツの介護予防効果について

- (2) 市町村の介護予防にeスポーツが活用されるよう役割を果たすべき
- 2 難病患者の雇用促進を
 - (1) 難病患者全体の就労状況について
 - (2) 障害者手帳を持たない難病患者の就労状況について
 - (3) 国と県の連携について
 - (4) 難病患者雇用促進アドバイザー制度の充実を
- 3 職業能力開発センター「職域開発科」「サービス実務科」の充実を
 - (1) 同センター同2科の評価について
 - (2) 同センター同2科の定員増を計画的に進めるべき
- 4 蜜源確保を進めるべき
 - (1) 埼玉県の新養蜂業育成について
 - (2) 蜜源確保の取組について
- 5 自転車運転ルールの周知を進めるべき
 - (1) 埼玉県の年代別による自転車人身事故状況の所見について
 - (2) 年少者・高齢者以外にも効果的に自転車運転ルールの周知を推進すべき
- 6 希少野生動植物種の保護を進めるべき
 - (1) レッドデータブック植物編の改訂を急ぐべき
 - (2) 県の希少野生動植物種の状況の認識について
 - (3) 希少野生動植物種の指定基準の見直しについて
 - (4) 希少野生動植物種、希少野生動植物保護区の指定を積極的に進めるべき
- 7 福祉こども避難所の指定を進めるべき
 - (1) 福祉こども避難所の所見について
 - (2) 福祉こども避難所の所見について
 - (3) 福祉こども避難所の指定への協力について
 - (4) 福祉避難所の協定見直しについて
- 8 地元問題について
 - (1) 青毛堀川河川敷内の樹木伐採と橋脚土台撤去を進めるべき
 - (2) 県道行田蓮田線の菖蒲町栢間地区に関わる早期整備について
 - (3) 県道加須幸手線交差点の整備について

無所属改革の会

中川 浩 議員



- 1 CS（県民への応対）「日本一暮らしやすい県」への道
～県民（県議）からの提案を県庁職員が聴き、回答（答

弁) する姿勢「軸足」・視点～

- (1) 「(一般質問前に) 県庁が既に予定していた事や、これまでの取り組み」を答弁で述べない事を、一般質問で質問者が望んだら?
- (2) 「DX時代」の人事異動時の引継ぎのシステム構築を
- (3) 職員の異動をつかさどる人事課の残業時間削減の新たな具体策は

2 「応能」の限界

- (1) 何を指標とするか? 納税出来なくて亡くなった人数の把握を
- (2) 国民健康保険税
ア 保険税の県統一時期を定めていない他県の理由に、低所得者への配慮があるのでは? ～市町村独自の繰入れを埼玉県が否定した影響～
イ 不適切な「督促」の把握・指導
ウ コロナ禍3年・物価高2年で先の見えない中、早期に出来る「減免」の検討を
エ 令和9年度実施メドの減免の検討は、名古屋市のような「減免制度」を
オ 高所得の税率強化
カ 他の健康保険との統合～国の動向と要望～

3 児童相談所のあるべき形

～「戦後孤児」の時代から脱却していない児童相談行政～

- (1) 性質上、県より市町村が児相行政を行う事に向いている～県庁としての認識は? ～
- (2) 市町村への「保護」判断、権限比重の強化～モデル市町村実施を～
- (3) 保護できるキャパを、現在の計画より上げねばならないのでは?
- (4) 東京都・区の児相設立を参考に、埼玉県内中核市や希望する自治体での児相設立援助は?
- (5) 児童相談行政について市町村が日頃感じている事の意向調査を

4 「SDGs 未来都市」埼玉県の実現に向けた新たな具体的発想とは

～寄付文化の醸成「貧困の改善」という観点で～

- (1) 国の少子化対策予算での新たな県民「負担」増、恩恵を受けられず負担だけ増える19才以上の貸付型奨学金利用者、財源確保は?
- (2) 宝くじでのSDGs 予算枠明示を
- (3) 高校同窓会費など民間による資金活用を

5 国の方針は方針として県庁としての政策判断・優先順位の中での「歳出削減」

～「放課後デイサービス」学童との費用負担の1人あたり比較、放デイの実質負担月平均3148円・公費13万

円、公費総額年間420億円～

- (1) 「習い事」への送迎は適切でないので、利用実態にどう対処するか
 - (2) 帰りは家族が迎えに来ては?
- 6 中長期の県民「負担増」概算シミュレーションの公表を、国保・水道・下水道、今後の負担見込み～値上げ要因、県職員の年収増分は価格転嫁せずに～
 - 7 ミネラル不足による生活習慣病発症、学校給食へのミネラル強化～食品が加工される過程で、食品本来の「ミネラル」分が抜け、人体に不都合が～
 - 8 「日本一暑い埼玉県」としての「断熱」～「2重窓」化の県計画目標は? ～

※ 5(2)については、質問を行わなかった。

自由民主党

鈴木 まさひろ 議員



- 1 日本ブランドの成功を埼玉の発展に活かす
 - (1) 「埼玉のブランド力」の発信強化について
 - (2) 海外からの誘客促進について
 - (3) 国内外からの投資促進について
 - (4) 県産品の国内外における競争力強化について
- 2 介護職の処遇改善と負担軽減に向けて
 - (1) 介護職の処遇改善策について
 - (2) 介護職の負担軽減について
 - (3) 介護職場における労働環境の改善について
- 3 県民の健康を守る「医療AI」等の活用推進について
 - (1) 県立病院におけるAI導入の評価と今後の展開について
 - (2) 県立及び民間における医療AIの導入推進について
- 4 広域的な組織犯罪への対応強化について
- 5 深刻化する子どもの視力低下への対応策
 - (1) 現状と今後の対策強化について
 - (2) 行動科学に基づく視力低下予防策
- 6 地元問題について
 - (1) 防災・インフラ整備の促進(県道美土里町新堀線の電線類地中化について)
 - (2) 治水対策(一級河川和田吉野川の改修について)

民主フォーラム

小森克己議員



- 1 埼玉県経済の生産性向上に向けた基盤強化について
- 2 次世代産業の創出について
- 3 3歳児における吃音検診について
- 4 埼玉県ESG債について
- 5 キャッシュレス化について
- 6 高齢者福祉施設への支援について
 - (1) 経営支援について
 - (2) 新型コロナウイルス感染症への対応について
- 7 子育て支援の充実について
- 8 特別支援学校・特別支援学級における教育体制の充実について
- 9 草加市内における河川の土砂撤去等について

自由民主党

栄寛美議員



- 1 TX（タスクトランスフォーメーション）の推進について
 - (1) TX対象業務の棚卸しや業務の分類、効果の高い業務の洗い出しについて
 - (2) TXに役立つデジタルツールの利用や成功事例の拡大について
- 2 情報アクセシビリティ対応による情報発信について
- 3 地籍調査の促進について
- 4 梨農家への支援について
- 5 公立小中学校における教育環境の改善について
 - (1) 学級編制基準及び教職員の配置基準の改善について
 - (2) 教職員の働き方改革について
- 6 事業承継の支援について
- 7 夏季における警察官の暑熱対策等について
 - (1) 警察官の装備品について
 - (2) 警察活動の県民への理解促進について
- 8 中川・綾瀬川流域の治水対策について

自由民主党

渋谷真実子議員



- 1 外国人人材に選ばれる埼玉県について
- 2 将来の科学技術を担う人材の育成に向けて
 - (1) スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の挑戦と継続に向けた支援について
 - (2) 理数系人材育成に向けた県立高校の更なる取組について
- 3 激甚化する災害の備えについて
 - (1) 屋内用インスタントハウスの導入について
 - (2) 地域防災力向上のための防災士の活用について
- 4 家庭用蓄電池の普及促進について
- 5 郷土の歴史や文化財の継承について
- 6 児童養護施設の人材確保について
- 7 地域計画の策定と農地の有効活用について
- 8 訪問歯科診療において必要不可欠な歯科衛生士の支援について
- 9 地元問題
 - (1) 県道川越栗橋線の交差点整備について
 - (2) 県道川越日高線新琵琶橋の架換えについて

公明党

小早川一博議員



- 1 こども・若者の“参画”に向けた取組について
 - (1) 今後の具体的取組について
 - (2) 若者の未来を応援する担い手の育成事業について
- 2 重度心身障害者医療費助成制度の助成拡充について
- 3 就労継続支援B型事業所の工賃向上の取組について
 - (1) これまでの工賃向上の取組について
 - (2) 就労継続支援B型事業所の役割と支援について
 - (3) 専門家の活用とIT・デジタル領域の取組について
- 4 難聴を理解し、支え合う社会を
 - (1) 誰もが働きやすい職場環境づくりを
 - (2) ヒアリングフレイル予防対策について
 - (3) 軟骨伝導イヤホンの活用について
- 5 放課後児童の居場所について

- (1) 放課後児童クラブの学校敷地内活用について
- (2) 小4の壁について
- (3) コミュニティ・スクールの仕組みを活用した放課後児童対策の推進
- 6 高次脳機能障害者支援の現状と支援養成研修について
- 7 地元問題について
 - (1) 金山町交差点の交通事故対策について
 - (2) 所沢駅西口再開発に伴う渋滞対策、安全対策について
 - (3) 県営所沢パークタウン武蔵野住宅の外壁落下に伴う改修工事について
 - (4) 一級河川東川における護岸被害への対応と今後の見通しについて

自由民主党

小川直志議員



- 1 水害リスクマップと災害対策について
 - (1) 水害リスクマップの公表への想いについて
 - (2) 水害リスクを踏まえた対応について
- 2 動物飼育施設の適正運営と県の関わりについて
 - (1) 飼育されていた犬猫の保護と同じような事業者に対しての対応について
 - (2) 適切な業務をしている証を表示することについて
- 3 「第75回全国植樹祭」を契機とした「森林セラピー」等森林を活用した新たな事業の検討について
- 4 保護司業務の安全性に対する県の支援について
- 5 熱中症対策における県の取組について
- 6 広域避難対策について
 - (1) 東京都からの広域避難者について
 - (2) 広域避難者、帰宅困難者の滞在施設について
- 7 食糧（米穀）生産に対する県の対応について
 - (1) 今後の米の生産と新品種の普及対策について
 - (2) 海外販路の拡大について
 - (3) ほ場整備事業をより一層促進することについて
- 8 地元問題について
 - (1) 飯盛川及び葛川の治水対策の進捗状況について
 - (2) 遊水地工事に伴う県道上伊草坂戸線の状況について

自由民主党

高橋稔裕議員



- 1 渋沢って、埼玉らしい
 - (1) 道徳銀行と共に～経済の好循環の起点である価格転嫁の円滑化について
 - ア 唯一無二の価格転嫁円滑化促進パッケージの一層の取組を！
 - イ 価格転嫁サポーターに敬意と感謝を込めた表彰を！
 - (2) 渋沢栄一起業家サロン（仮称）を埼玉県の産業と起業の起爆剤に
 - ア 起業家と起業家・アイデア・情報・企業をつなげる体制を！
 - イ 実績ある創業ベンチャー支援センター埼玉とサロンの濃密な連携を！
- 2 こどもまんなか社会実現に向けて
 - (1) 障害児保育補助事業の廃止について
 - (2) 学校における働き方改革基本方針～教員の業務の受渡し先について
- 3 埼玉農業を応援する
 - (1) 集落内農地と大規模農地の今後の荒廃を防ぐ
 - ア 不整形で小規模な集落内農地に対する考え方について
 - イ 大規模集約可能な農地のほ場整備を加速すべきではないか？
 - (2) イネカメムシを退治する
 - ア 大量発生による被害の状況について
 - イ 広域自治体として対策を！
- 4 県内の移動の自由を考える～パート4
 - (1) 地域公共交通の質的な充実～市町村の理解はどこまで進んだか？
 - (2) 交通空白解消・官民連携プラットフォーム（仮称）への積極的な取組を！
- 5 地元問題
 - (1) 県道羽生栗橋線バイパスの東側からの整備について
 - (2) 県道久喜騎西線バイパス上高柳2工区の早期整備について
 - (3) 県道加須幸手線バイパスの早期整備について

自由民主党

逢澤 圭一郎 議員



- 1 ギャンブル依存症対策について
 - (1) 中高生への予防対策について
 - (2) 周知啓発相談支援について
 - (3) ギャンブル依存症対策の財源について
- 2 県立特別支援学校の過密対策について
 - (1) 八潮高校、和光高校の跡地活用について
 - (2) 高校内分校の今後の在り方について
 - (3) 小中学校の分校設置について
- 3 県立特別支援学校の屋内運動場のエアコン設置について
- 4 救急搬送患者の受け入れ体制の再構築について
- 5 災害時応援協定締結団体・事業者との関わりについて
- 6 個人版ふるさと納税について
- 7 保育士の人材確保に向けた県単独補助について
- 8 東埼玉道路の自動車専用部における工法変更の経緯と影響について
 - (1) 工法変更に至った経緯について
 - (2) 工法変更による影響について
- 9 県水送水管を利用した直送給水について
- 10 地元問題について
 - (1) 栄調節池の有効活用について
 - (2) 都市軸道路の整備について
 - ア 都市計画道路三郷流山線彦糸工区の歩行者横断施設の設置について
 - イ 都市計画道路三郷流山線の延伸について

ついて

- 3 県庁を働き甲斐のある、魅力ある職場に
 - (1) 若手職員の声なき声に耳を傾けよう
 - (2) 改革に取り組まないのは、なぜ？
 - (3) 今こそ、改革に取り組むべき
- 4 働きやすい職場環境の醸成を
 - (1) 「子持ち様」意識の実態は？
 - (2) 周囲の職員への配慮を
 - (3) 職場の良い雰囲気づくりは上司の務め
- 5 金利ある世界を意識した産業政策への転換を
- 6 時代に即した改革の取り組みを
 - (1) 職員住宅のあり方について
 - (2) 電気自動車導入補助のあり方について
- 7 高齢社会の到来を見据えた取り組みを
 - (1) 介護施設と有償ボランティアのマッチングを
 - (2) 買い物難民への移動販売と健康相談の融合事業を
- 8 県公式 SNS の有効活用を
 - (1) 広報活動における分析について
 - (2) 県公式 SNS 登録者数の増加を
 - (3) 特徴を活かした民意の把握を
- 9 緑豊かな生活環境の保全・創造を
 - (1) 地域経済の活性化のために
 - (2) なぜ、指定管理者の選考方法の変更を？
 - (3) 指定管理者の選考方法は、見直しを
- 10 下水道事業の安定的な運営のために
 - (1) 維持管理負担金の水準は？
 - (2) 経営努力、経営改革の現状は？
 - (3) 流域自治体や県民に対する広報の充実を

自由民主党

新井 一徳 議員



- 1 歴史的課題の解決に向けた行政改革を
 - (1) 5か年計画のあり方について
 - (2) 組織のあり方について
- 2 東京都との比較を
 - (1) 行政サービスの差異について
 - (2) 地理的条件を踏まえた上での公の施設のあり方に